



# シルバーだより

# 神栖

第19号

発行元: 神栖市シルバー人材センター  
広報部会  
発行元住所: 神栖市溝口 4991 番地 5 号

## CONTENTS

- p1. 第1回通常総会・理事長挨拶
- p2. ボランティア活動
- p3. グラウンドゴルフ大会

- P3. 親睦日帰り旅行
- P4. 神栖市産業祭 PR 活動
- P4. 公益法人制度改革
- P5. 県シ連安全パトロール
- P6. 私の趣味

11月末現在  
会員数: 611名  
事業実績: 140,338,720円  
就業率: 75.5%

# 平成二十三年第一回通常総会開催

## 理事長挨拶



▲新理事長  
沼田 光彦

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方にはお健やかに平成二十四年の新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年三月十一日に発生した東日本大震災は、まさに未曾有の大惨事でありました。会員の皆様におかれましても何らかの被害を被られたことと思えます。一日も早い回復と、本年が良き年となりますようにお祈り申し上げる次第でございます。

さて、社団法人神栖市シルバー人材センターは、本年度、法人組織として大きな変革の時期を迎えることとなります。「公益社団法人」への移行を目標にその手続きを進めているところでありますが、認定を受けますと高い社会的信用を得ることが出来ます。しかし、一方で地域社会から公益目的の事業に沿った十分な活動が出来ているかより厳しい視点で注目されることにもなります。会員一人ひとりが自覚と責任を持って、地域社会の皆様から信頼され、愛される活躍をされることが、今まで以上に求められていると言えましょう。

終わりに当たり、安全就業にはくれぐれもご留意くださいますようお願い申し上げますと共に、皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 通常総会の開催

去る六月三日に平成二十三年第一回通常総会が神栖市文化センターで開催されました。当日は保立市長を始め多くの来賓の方々を迎え祝辞を頂きました。その後、議事に入り、平成二十二年補正予算・事業報告と平成二十三年度収支予算・事業計画等の議事十二項目を審議し承認されました。

事業計画では我がシルバー人材センターを取巻く社会環境、低迷基調の経済動向、少子高齢化社会の中、団塊世代の地域社会への回帰等難しい局面を迎える事に対応して行くとの説明がありました。



▲通常総会



▲通常総会

更に公益法人化の完全移行の平成二十四年四月二日に向け、定款や諸規定等の変更、関係書類の作成など事務局を中心に公益社団法人化に向けて取り組み、最終的には茨城県の認定機関での厳しい審査を受け認定される事により大きな信用を得る事が出来るとの報告があった。また、互助会運営も公益法人化により、センターからの助成金支出が出来なくなり、平成二十四年度からは大幅な形態変更を余儀なくされる為、今年度中に審議・決定されるとの報告がありました。

今後共、皆様のご理解とご協力を宜しく願います。「ガンバレ、日本・ガンバレ、シルバー人材センター。」

(広報部会長 森 優)

# ゴミ清掃ボランティア活動

## ボランティア活動をとおして 地域社会に貢献

今まで当センターのボランティア活動は総務部会内活動として実施されて来ましたが、活動をとおして地域の皆様、そして会員間の交流が一層深められ、また、従来にも増して充実感や生き甲斐を感じていただけたらと、平成二十二年十月二十七日、第三回理事会で委員会設置が承認され正式に委員会が発足しました。委員会の主たる目的は、ボランティア活動をとおして就業以外にも会員間や地域の方々との交流を深め、そして活動が地域社会に貢献し、また自身の生き



▲ 活動には 40 名が参加されました



▲ ゴミ清掃活動中

甲斐にも繋がり、地域社会への参加推進を図る事としております。

過去の活動は、市内小学校において、昔あそび（お手玉・水鉄砲・竹馬・竹とんぼ等）の活動を行い、子供達と一緒に遊び、一緒に昼食をし、充実感そして生き甲斐を感じ、自身の存在意義をも確認する楽しい時間を過して来ました。

今年度は九月二十六日、神栖市文化センター前の国道（歩道部分）の空き缶、ゴミ拾いの清掃活動を行い、良い汗をかきました。今後も、会員の皆様のご意見を聞きながら、



▲ ゴミ清掃活動中

活動を幅広く進めていき従来にも増しての活動としたいと思っておりますので、ご提言とご協力をお願い致します。

（ ボランティア委員会

副委員長 竹内 利夫 ）

（ 例年 2 月に頃に行っていました、市内小学校との昔あそびの活動は、平成二十三年三月十一日の震災の影響で小学校側の日程が取れないとの事で、今年度は取り止めとなりました。 ）

# 平成23年10月グラウンドゴルフ大会



## 大会に参加して

去る十月一日神栖市グラウンドゴルフ場に於いて、会員互助会主催のグラウンドゴルフ大会が開催されました。幸いにスポーツ日和に恵まれて、七十名からの参加者で行われました。

最初に沼田会長のご挨拶から準備体操を行い、そして十一組に分かれて3コースでプレーがスタートしました。時折、ホールインワン達成の歓声やホールインワン寸前の慰めの声等が聞こえる、雰囲気の中で皆さん気持ち良い汗をかきながら、プレーを続行出来た事と思います。私事ですが、ようやく勘が掴めた時にはプレーは終わっており、頂いた昼食を食べたら掲示板を眺める事も楽しみなものでした。

表彰式に入り沼田会長より各入賞者に賞品が渡され、最後に前同好会の野沢会長の閉会のご挨拶がありその後、参加者全員に参加賞が渡されて大会の終了となりました。(平泉東・立原 繁吉)

## 大会結果

〈男性の部〉

優勝 栗林 四郎

準優勝 沼田 美知男

第3位 吉田 悟朗

〈女性の部〉

優勝 高橋 よし子

準優勝 野口 かん

第3位 早川 とし子

当日賞 見山 清



# 平成23年11月親睦日帰り旅行

## 日帰り旅行に参加して



▲ 昼食風景 (横浜中華街)

平成二十三年十一月九日に会員互助会による、日帰り旅行が行なわれました。

当日は、秋晴れの好天に恵まれ、

総勢八十八名でビール工場見学と中華街探索と横浜港湾クルージングの旅にバス二台で神栖を出発し、最初に互助会会長の沼田さんの挨拶が終わると、すぐに車内ではカラオケが始まり「雪椿」等で盛り上がり、最初の目的地のキリンビール横浜工場に到着(日本で最初のビール工場)場内の見学とビールの試飲があり、最高で五杯も飲んだ人もいました。その後、二番目の目的地の中



▲クルージング・船内にて



きました。最後に、参加者・関係者の皆さん楽しい時間をありがとうございました。(土合南・森 優)

華街の重慶飯店での昼食となり、シャン・ピタン(楽山冷盤)から麻婆・杏仁まで全七品を満喫し、そのあとの買い物では、肉まん・シウマイ等のお土産を調達しました。最後は横浜港湾クルージングに向かった、山下公園の船着き場よりマリールージュ号に乗船し、ベイブリッジの橋の下を通り港内を一周し、船内ではコーヒータ等飲みながら、のんびり、ゆっくりと海上からビル街を眺めた後、帰路につ

# 神栖市産業祭で PR 活動

震災から 7 ヶ月が経ち、各地で様々な催しが行われるようになって来て、みんなが頑張っている事を見かけていました。

神栖市では、今年は産業祭が行なわれるんだらうかと思って、開催するということで、ほっとしました。

私が産業祭に参加するようになって、今年で 2 回目になり、自分だけではないかと思いますが一昨年に参加させていただいた時には少し疲れてしまいました。

様々な年代の来場者の方に声をかけてパンフレットを配りましたが、皆さん気持ちよく気持ちよく受取ってくれて、疲れも忘れしました。また、イベントというのは声かけと笑顔がないと皆さん通



り過ぎて行ってしまいますのでその点は気を付けながら PR 活動をしていました。時にはお客さんから握手を求められる事もあり嬉しかったです。今年はポップコーンも販売しましたがテント前に行列が出来る事もありました。ポップコーン作りも朝から大変だったと思いますが色々な方の協力がなければ出来ない事ですので、今後も 1 人でも多く参加してもらいたいと願います。

(海老台・遠藤 幸枝)

## 公益法人制度改革への対応について

公益法人制度改革とは 1896 年(明治 29 年)の民法第 34 条で定められている約 2 万 5 千ある現行の公益法人の中には、実質的に公益性の薄れたものや営利法人と同様な活動しか行っていないような団体も存在し、補助金や行政からの業務委託への極端な依存体質や単なる天下りの受け皿機能になり下がっている団体が多いなどの指摘を受けるようになり、民法制定以来 110 年経ち時代にそぐわなくなったことから、2000 年～2008 年にかけて公益法人制度を抜本的に見直す制度改革が行なわれた。具体的には、現行では設立が非常に困難な主務官庁による設立許可制度を改め、登記のみで設立できる制度を採用することで法人格の取得を簡便にし、更にその中から民間の有識者からなる委員会によって一定の公益性を有する法人を認定することで、民間が担う公益活動の促進を図るようになります。

この公益法人制度改革するため、2006 年 3 月に「公益法人制度改革関連 3 法案」が閣議決定され、同年 5 月に国会において法案が成立し、2008 年 12 月から施行され新制度に移行しています。新制度の柱は、法人格取得と公益認定の切り離し、準則主義による非営利法人の登記での設立、主務官庁制廃止と民間有識者からなる合議制機関による公益認定、公益認定要件の実定化、中間法人の統合、既存の公益法人の移行・解散などです。

新法人への移行は 2008 年 12 月 1 日の新法施行により現行の公益法人は全て法律上「特例民法法人」となり、5 年以内に新制度の「公益社団法人」・「公益財団法人」、又は「一般社団法人」・「一般財団法人」への移行の認定申請をすることになります。尚、移行期間の満了日をもって以降が認められなかった法人や移行申請をしなかった法人は自動的に解散したものとみなされます。

公益社団法人に移行するメリットは  
● 社会的信用 『公益社団法人』という名称を独占的に使用できるため、公益性の高い法人として社会的評価が得られ、受注にも有利になる。また、補助金等の支援が受けられやすくなる。

● 税制上の優遇措置 法人税の課税上の優遇措置(公益目的事業は非課税)がある。また、寄付者に対する優遇税制により広く一般からの寄付が集めやすくなる。

公益法人移行で抵触することが想定されるものは『学術・技芸・慈善・その他の公益に関する 23 事業に該当し、『不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するもの』が条件となっており、会員互助会への活動助成はこれに抵触すると想定されます。

(センター事務局)

# 茨城県 S C 連合会安全パトロー

十一月十六日、午後二時から木村進委員長（県 S C 連合会・安全適正就業対策推進委員）をはじめとする一行 8 名が来所されました。当センターは、沼田理事長をはじめ、安全衛生委員十名が出席しました。

はじめに、金井主任から当センターの設立年月、生い立ち、就業業務、会員数等の説明があった。続いて、連合会から当センターの過去五年間にわたり、県に報告された傷害・損害事故の説明があり、それによると傷害事故は十六件発生、平成二十一年度は減少したものの平成二十二年度は五件で最多である。（死亡傷害事故は平成十九年に一件発生）平成二十三年度は（四月～九月）は、損害事故一件、傷害事故はゼロである。当センターへは過去の「事故内容を分析・検証し、対策を会員に周知徹底する事」との指導があった。その後、意見交換に移り、連合会から現在、センターで見直しを進めている「作業別安全・適正就業基準」は、安全第一とする的を得た事務事項であるとの評価を得た。また、センターで実施している会員の「持病アンケート」については、もう一歩突っ込んで把握してはとのアドバイスがあった。センターからは、傷害・損害事故として捉える基準（軽微な物損はどのようなにとらえるのか）、鹿行地区で発生したセンター所有での車両後退時の死亡事故はシルバー側にはどこまでの責任があるのか、センター所有車の運転者について定期的な運転免許証照会は、どの程度まで実施する事が望ましいのか等の質問があり、予定の時間を大幅にオーバーしての質疑がなされ、会議が終了した。（安全衛生委員会・委員長）



## 功労者表彰者

昨年去る六月三日金曜日に平成二十三年度第一回通常総会において、当シルバー人材センターの発展に功労のあった九名の方々の表彰式が行われました。

### ◇役員表彰 1名

理事 小松 賢一（太田新町）



### ◇会員表彰 8名

井上 健一（土合中央）	山本 静子（奥野谷）
東峰 ツネ（大野原中央）	沼田 いね（賀）
和久井秀雄（筒井）	佐々木正高（土合南）
武者 通美（神栖）	黒沢 茂二（神栖）

入会順・敬称略

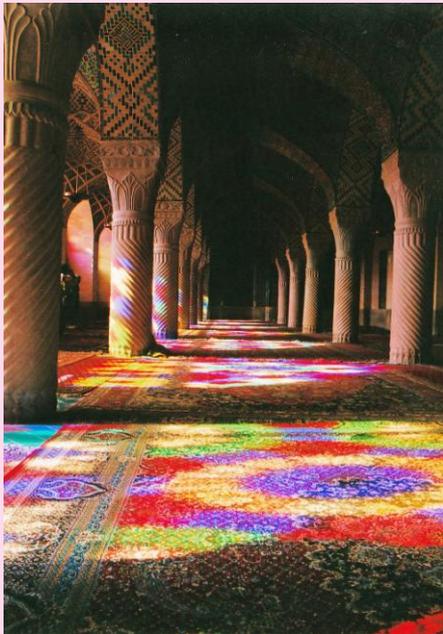
## 新役員紹介

### 《第十二期役員》

理事長 沼田 光彦	監事 遠藤 日出子
副理事長 竹内 利夫	監事 富樫 三男
常務理事 長谷川 整治	
理事 森 優	
理事 遠藤 幸枝	以上、理事十名・監事二名
理事 藪田 紀仁	が平成二十三年六月より新
理事 伊東 よし子	役員になりました。
理事 森 喬	
理事 篠塚 初枝	
理事 大島 房男	

順不同・敬称略





この写真は県水戸生涯学習センターが募集した「愛宕アートギャラリーフォトコンテスト」で「菅宮さん知事賞に輝く」のタイトルで茨城新聞に掲載されたものです。

## 私の趣味

2010年10月、茨城県水戸生涯学習センター募集の「愛宕アートギャラリーフォトコンテスト」に応募した写真です。2010年4月から月2回、水戸の学習センターの写真塾に通っていました。

水戸の写真塾に通ったのは、自分の力が知りたくて他流試合にという下心があつてのこと。どのくらいシャッターを押したろう。自分で気に入った写真はほとんど無いと云えますが、正直、人様に褒められるという事は嬉しいです。



菅宮 清（高一）

- ・タイトル「ステンドグラスが床に映える」
- ・撮影日時 2008年11月7日 午前9時頃
- ・撮影地 イラン シラズ ローズモスク

## 会員のひろば

○ 川柳

- ・青春の 涙で綴る 甲子園
- ・応援の ギャルも泣いてる ホームラン
- ・敗戦で 汗と涙で 砂を詰め (知手中央・根本 志津子)



## 事務局からのお知らせ

### 剪定・草刈・除草作業会員募集

剪定・草刈・除草作業会員が、不足しており手配に苦慮しております。会員・知人等で就労を希望する方がいましたら、事務局までご連絡下さい。

### ホームページについて

当センターではホームページを開設しております。就業情報やイベント情報など随時更新しておりますので、パソコンをお持ちの方は是非一度アクセスしてみてください。

URL: <http://www.silverbrain.com/ibaraki/kamisuru/>

## 募集中

お気軽にどうぞ！

『シルバーだより神栖』では、会員の皆さんに親しみをもって楽しく読んでいただく為、随時原稿を募集しております。シルバーに入会しての感想やご自身の趣味、私の生きがいや体験談などの原稿や俳句・短歌・川柳・標語・写真など何でも結構ですので、広報部会員又は事務局（本所・支所）までどうぞお寄せ下さい。掲載された方には薄謝を呈呈致します。

## 編集後記

シルバーだより19号の発刊が大変、遅くなってしまい申し訳ありませんでした。三月十一日の東日本大震災の影響もあり、通常総会も六月にずれ込み、広報部会員の決定も遅れました。今回、広報部会は広報紙発行に際し分担を決め取材し、会員の皆様の協力により発行に至りました。

今後とも広報の役割を認識し、紙面の充実に努めて行きたいと思っておりますので今後共、皆様のご協力をお願い致します。

## 編集・発行

### 神栖市シルバー人材センター広報部会

- 広報部会長 森 優
- 広報部会員 遠藤 幸枝
- 藪田 紀仁
- 伊東 よし子
- 森 喬
- 富樫 三男